



Ping/TCP Test App

Ping/TCPテストアプリは、選択した宛先に対してPingまたはTCP接続テストを実行し、接続性の変化を監視することができます。

Pingテストは、選択した宛先にICMPエコー要求を送信し、サーバーまたはクライアントに到達できるかどうか、また応答するのにかかる時間を測定できます。

TCP接続テストは、選択した宛先とのTCP接続を開き、3ウェイハンドシェイク(SYN、SYN/ACK、ACK)を使用してポートの可用性をテストします。

ホーム画面からPing/TCPアプリを開くか、自動テストやディスカバリなどの他のアプリから、デバイスの詳細画面を表示中にPingまたはTCP接続を選択することができます。

Ping/TCP設定

テストの設定は、設定でホスト名やIPアドレスを手入力するか、他のテストアプリのデバイス画面からPing/TCPを選択することができます。

他のアプリからPing/TCPを入力する

他のアプリからPing/TCPアプリを開くと、PingまたはTCPの対象機器としてアドレスが事前入力されます。例えば、下図のディスカバリアプリ画面のフローティングアクションボタン(FAB)メニューには、Ping/TCPアプリを開くためのオプションが含まれています。



この画面からPing/TCPアプリを開くと、すでに
ディスカバリアプリのIPv4アドレスがPing/TCP
 の宛先として設定されています。



Ping

開始



PING
TCP

192.168.3.212

デバイス名:


IP アドレス: 192.168.3.212

MAC アドレス: --

インターフェース: いずれかのポート

結果

Ping/TCP設定を手動で設定する

宛先などの設定を手動で設定するには、アプリ内の設定  を開きます。


Ping/TCP 設定

デバイス名 www.google.com	
インターフェース いずれかのポート	
テスト回数 連続	
プロトコル Ping	
フレームサイズ (bytes) 64	
周期 100 ms	
タイムアウト・スレッシュヨルド 1 s	
フラグメント無 無効	<input type="checkbox"/>

デバイス名 : 宛先のIPアドレスまたはDNS名を入力します。

IPプロトコルVer (EtherScopeのみ) : デフォルトではIPv4が使用されています。IPv6を有効にするには、フィールドをタップします。

インターフェース : この設定は、ポートスキャンが実行されるAirCheck G3ポートを決定します。フィールドをタップして、ポートを選択します。

テスト回数 : タップして、実行するPingまたはTCP接続テストの回数を選択します。初期設定の**連続**は、**停止**ボタンをタップするまでテストを実行し続けます。

プロトコル : タップして、テスト用のPingまたはTCP接続プロトコルを選択します。

以下の設定の一部は、選択したプロトコルに依存します。

フレームサイズ(bytes) : この設定は、**プロトコル**でPingが選択されている場合にのみ表示されます。AirCheck G3が送信するペイロードとヘッダーの合計サイズを指定します。ラジオボタンをタップして新しいサイズを選択するか、64~1518バイトのカスタム値を入力します。

宛先へのルートで最大伝送単位(MTU)をテストするには、テストしたいMTUフレームサイズを選択し、**フラグメント無**の設定(下記)を**有効**に設定します。

周期：この設定は、**プロトコル**で**Ping**が選択されている場合にのみ表示されます。AirCheck G3から送信される各Ping間の時間経過を制御します。

ポート：この設定は、**プロトコル**で**TCP接続**が選択されている場合にのみ表示されます。これは、AirCheck G3がTCPオープンポートテストの宛先アドレスに接続するために使用するポート番号を示します。必要に応じて、**ポート**フィールドをタップしてポップアップ番号パッドを開き、ポート番号を入力します。OKをタップして保存します。

タイムアウト・スレッシュホールド：このしきい値は、テストが失敗する前に、AirCheck G3がターゲットからの応答を待機する時間を制御します。

フラグメント無：この設定は、**プロトコル**で**Ping**が選択されている場合にのみ表示されます。有効にするには、トグルボタンをタップします。上記のフレームサイズの設定の説明を参照してください。

Ping/TCPテストの実行

Ping/TCP接続テストを実行するには、ユニットがアクティブなネットワーク(**テスト**または**管理ポート**)に接続されている必要があります。画面上部のステータスバーのアイコンは、AirCheck G3が接続されているかどうか、またどのように接続されているかを示します。**Ping/TCP**から適切なインターフェース(または**いずれかのポート**)を選択します。

デフォルトの宛先は**google.com**です。アプリの設定  を開いて、任意の宛先を入力してください。

テストを開始するには、**開始**をタップします。**テスト回数**の設定が**連続**に設定されている場合、**停止**をタップするまで**Ping/TCP**アプリは選択した宛先に対してテストを実行します。



デバイス名 : 対象機器のホスト名またはアドレス

IPv4 または IPv6アドレス : 宛先デバイスのIPアドレス

MACアドレス：宛先デバイスのMACアドレスです。2つの ー は、デバイスからMACアドレスが提供されていないことを示します。

ポート：TCP接続テストに使用するポート番号です。このフィールドは、Pingテストの結果には表示されません。

インターフェース：テストを実行するAirCheck G3テストまたは管理ポート。

結果

- **開始**：テスト開始時間
- **ステータス**：直近のテスト状況
- **送信**：宛先に送信されたPingまたはTCP SYNパケット数
- **受信**：宛先から返ってきたPingまたはTCP SYN/ACKパケット数
- **ロスト**：ターゲットから返されなかったPingまたはTCPパケットの数

応答時間グラフ：対象機器の応答時間をミリ秒単位でプロットします。グラフは、ユニットがリンクしたままであれば、過去24時間までのデータを保存して表示します。

グラフ上でズームを行うには、スワイプ、ダブルタップ、スライダーでの移動が可能です。グラフコントロールの概要については、**トレンドグラフ**のトピックを参照してください。

応答：T応答時間測定値の最新、最小値、最大値、平均値の表示

リミット：Ping/TCPアプリで設定しているタイムアウトしきい値。